

山科区民バレーボールカーニバル



6月17日(日)に第36回山科区民バレーボールカーニバルが、山階南小学校と百々小学校の各体育館で開催されました。

区内13学区から24チームが出場し、各チームともに日ごろの練習

の成果を発揮した熱戦が展開されました。優秀チーム(2勝以上)は次のとおりです。

- 優秀チーム
山階南A、Bチーム
勤修Aチーム 音羽チーム
鏡山A、Bチーム
百々Aチーム 小野A、Bチーム
- 問合せ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)

おこしやす “やましな”協議会総会が開催されました

6月19日(火)、おこしやす“やましな”協議会の総会が開催されました。同協議会は、山科の観光振興を目的として平成18年に結成され、イベントの企画のほか、区内の史跡の観光案内板や観光マップの作成などさまざまな活動を行っています。

この度の総会では、決算報告や平成24年度の事業計画などについて話し合わせ、昨年度に引き

続き秋のイベントを実施するとともに、新たに「東日本大震災の被災地に山科の魅力をお届けよう！」プロジェクトを区と協働して行うことなどが決定されました。

- 問合せ先/区総務・防災担当(☎592-3066)



七夕の笹飾りを区役所に

「いつも、ありがとうございます。」と、元気なご挨拶と共に、洛東幼稚園(写真左)、西念寺保育園(写真右)の園児さんから七夕の笹飾りをいただきました。

早速、区役所玄関に飾らせていただきました。さわさわと風に揺れる色とりどりのお飾りや短冊たち。区役所を訪れる市民の皆さんを涼やかに迎えてくれました。

園児の皆さん、素敵な笹飾りをありがとうございました。



みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう！ 第12回 連載 区民活動きずなリレー

～里山づくりに汗を流しています～

「わくわくやましなみんなの里山づくり活動」(山科「きずな」支援事業補助金交付事業)

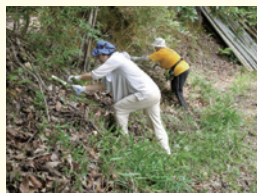
区民の皆さんと作った「第2期山科区基本計画」が昨年4月にスタート！このコーナーでは計画に関する区民活動をご紹介します。

今回は計画の5つの基本施策のうち「環境を守り継ぐ」に関連して、みささぎの森での里山づくり活動をご紹介します。

みささぎの森は天智天皇陵近くの疏水べりから北側の山に広がり、大文字の山々とつながる森です。5年前にこの土地に越してきたオーナーの奥田さんは、以前からNPO法人ビオトープネットワーク

ク京都に所属し、宇治で里山整備の活動をしていましたが、昨年夏から仲間力を借りながら本格的にこの森の手入れを始めました。

まずは京大の先生や専門家に里山整備について講義をしていただき、現地調査も行い、どのような森が望ましいのかアドバイスしてもらいました。長い間人の手が入らず放置されてきた枯れ枝の処



作業の様子



西京極で 京都サンガF.C.を 応援しよう！



© KYOTO P.S.

9月23日(日) 水戸ホーリーホック戦は、山科区民デー

J1昇格を目指し、クラブ一丸となって戦う京都サンガF.C.。皆さんの声援で、ぜひとも勝利を勝ち取りましょう！

- 日時/9月23日(日) 19時キックオフ
- 会場/西京極陸上競技場兼球技場
- 対戦チーム/水戸ホーリーホック

山科区民デー 100組200名様をご招待！

- 対象/山科区にお住まいの方
- 申込方法/往復はがきに、次の事項を明記のうえ、お申し込みください。申し込み多数の場合は抽選とし、落選の場合もお得な観戦優待券をお送りします。

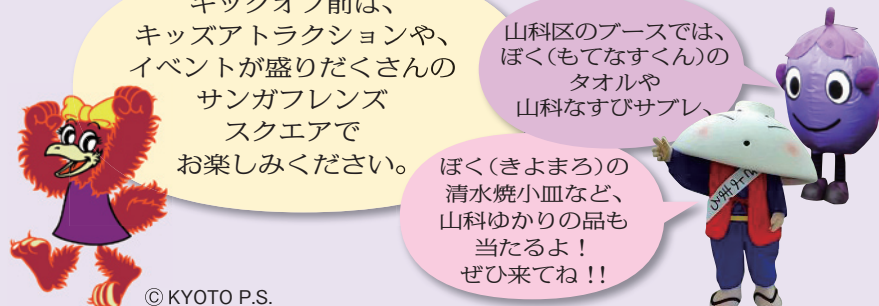


22 MF 駒井善成(山科区出身)

- ・ 往信用表面(あて先) 〒610-0102 城陽市久世上大谷89-1 京都サンガF.C. 山科区民デー招待係
- ・ 往信用裏面 ①「山科区民デー招待」 ②住所 ③代表者氏名(ふりがな) ④電話番号 ⑤希望人数(2名まで)
- ・ 返信用表面 郵便番号、送付先住所、氏名 ※返信用裏面は記入不要
- ・ 締め切り 9月7日(金)必着
- 問合せ先/京都サンガF.C. ホームタウン推進課(☎0774-55-7603)

キックオフ前は、キッズアトラクションや、イベントが盛りだくさんのサンガフレンズスクエアでお楽しみください。

山科区のブースでは、ぼく(もてなすくん)のタオルや山科なすびサブプレ、



ぼく(きよまる)の清水焼小皿など、山科ゆかりの品も当たるよ！ぜひ来てね！！

© KYOTO P.S.

理や竹の伐採などを行ってきました。枝を払うことで森に光が入り、新しい樹木が育ちます。また、シカに若木を食べられないように竹の小枝などで保護もしています。

活動メンバーはNPOの会員に加え、町内の回覧を見た参加者が増えていて、毎月の活動日には10人ほどが集まります。近所に住む服部さんも回覧を見て参加されたそうで「家のすぐ前の森の変化が気になっていたところ、里山を学べる機会ということで参加しました」とのことです。奥田さんによると「専門家任せでなく、近所の方が好きな時に来て作業できるのが望ましい」そうです。

これからは果樹を植えたりミツバチの巣箱を設置したり、森の個性を活かしながら現代に適した

里山の利用を企画し、子どもたちが放課後に来て活動できるような森になればと、夢が広がります。今年度、山科区の支援事業の対象になったことも活動の後押しになるでしょう。

三方を山に囲まれる山科で、このような里山づくりの活動がどんどん広がるといいですね。

参加者随時募集中とのことですので、下記におたずねください。

- 問合せ先/区総務・防災担当(☎592-3066)



ここから始まる交流も